

令和6年度 第2回函南町環境審議会 会議録

[会議の開催の日時] 令和7年2月17日(月) 午後2時～3時19分

[会議の開催場所] 函南町役場 4階特別会議室

[出席者] 委員：(会長) 山下委員、(副会長) 森委員、鈴木(和)委員、
仁科委員、遠藤委員、小松委員、菅沼委員、鈴木(久)委員、
内田委員、村松委員
町：仁科町長、大沼厚生部長、飯島環境衛生課長、
芹田課長補佐、笠井係長、

[傍聴者] 無し

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委嘱状の伝達
- 4 委員の紹介及び正・副会長の選出
立候補者3人の内、委員による多数決で決定
会 長：山下 雅彦 様
副会長：森 洋子 様

- 5 会議
・函南町環境基本計画年次報告
【事務局説明】函南町環境基本計画年次報告書令和5年度実績
【質問及び意見要旨】

委 員	函南町環境基本計画の対象範囲に公共交通があるが函南町では公共交通の新しい計画が策定されたと思う。どう計画に反映されたのか。 現状値の指標は80%の達成でBと評価することになっている。温室効果ガスの削減目標については、例えば2030年度の温室効果ガスが5,900 t-Co2でもBになる。80%以上でBという評価がいいのか検討してほしい。1人1日当たりのごみの排出量も857gで、2030年にそんなに減らなくてもBになってしまう。今回はいいが、B評価で今後いいのかという見解である。 最終処分場の埋立ごみの搬入量は、環境基本計画だと数値目標に入っているが、一般廃棄物処理基本計画(中間見直し)に、計画目標値には選定していないと書かれている。整合性が取れていないのでは。 省エネルギー機器導入と省エネ家電購入の補助金との記載があり、同じ事業で書き方が違うというのはいかがか。 省エネ家電購入費補助金は事業者の利用が現在2件しかない。次年度以降は変更があるのか。
事務局	公共交通の新しい計画は地域安全課とまだ協議をしていないため、環境基本計画がどう反映されているかは確認をする。 温室効果ガスの排出量の削減の目標値は、目標値に対してBになってしまうかもしれませんが、それに向けてやっていくということで問題

事務局	ないと認識をしている。 ごみの排出量の目標値についても温室効果ガス排出量の削減と同じ形の回答になるが、これを目標に向かって進めていくということでいいと思っている。 最終処分場に埋め立てているものは現在、焼却灰だとかそういったものであり、リサイクルできるものは全てリサイクルしている。どうしてもリサイクルできないものを毎年約10tぐらいを埋め立てている。このまま継続的に最終処分場には、リサイクルできないものを少しずつ埋めていくという中で、延命化が既にされているというところでこのような形にしている。 表記の仕方について、町の施策の省エネルギーの取り組みの推進の中で、町民、事業者へ省エネルギー機器の普及を促進しますということで施策としては決めている。実際の事務としては函南町省エネ家電購入費補助金交付要綱を制定している。施策と実際の補助金交付要綱の標題というところで御理解いただきたい。来年度以降は事業者の方々なるべく利用していただけるような形で、普及啓発等を実施していきたいと考えている。令和7年度以降も担当課としては、その事業の予算をこれから始まる議会において予算の議案としてあげている。議会で予算が否決された場合にはその事業はできないので、そこはご理解をいただきたい。
委 員	スペースが多くある箇所があるが、これはそのまま公表するのか。 緑のカーテンについて、新規事業か継続事業かの記述は必要である。 みどりまつりについて、こちらの調べでは今後やらないのではという声が多く、緑化推進の中核が無くなってしまうという懸念がある。また南側駐車場の木が伐採されている。緑化推進が心配である。 まちづくり条例の眺望地点について、指定に向けて必要な調査や整備を進めるという町の施策に対し、実績はありませんでしたとなっている。再確認していただきたい。道の駅川の駅の記載が無い。 年次報告書という言い方を他の市町は使っていない。環境報告書、環境白書という言い方をしている。町民も含めてわかりやすいものを発表するということであれば、環境報告書に変えていただきたい。
事務局	白紙の部分は、調整できれば調整させていただきたいと思う。 緑のカーテンについて、新規事業または既存の事業をやったのかをわかるように調整をさせていただきたい。 みどりまつりは産業振興課と協議をした中で、今年度は実施していないということだが、来年度より同じ名前ではないが、緑に関するイベントは引き続き、新たにやっていく話を聞いているので、緑化推進のためのイベントがなくなるという認識はしていない。 眺望地点の看板は担当課に確認をさせていただき、修正が必要であれば修正をさせていただきたい。 年次報告書の表題は、他市町は環境白書など様々であるが、当町においては令和5年度に実施したものの年間の報告書という形で考えている

事務局	ので、現在のところ変更することは考えていない。環境基本計画の中でも年次報告書として報告することを記載しているので、その形にさせていただきたい。
委員	活動がかなりあるということは認識した。今の評価は活動をしたしないという評価になっている指標が多いと思うので、定量的に二酸化炭素がどれくらい減ったか、また、人の数だけをとるとその評価が下がるがその人が自分で何かワークショップをしたとか、誰かに伝えたかなど教育効果等が見えれば、人数が少なくても意味のあるものになると思う。先ほどのABCの評価の話は、事務局の方針に私も同じで、Bであってもこういうことをやったからこうだったということが説明できれば基本的にはよいと思った。 年次報告書の表題は、他の市町村や町民の方がどう思うかわからないが、計画の中での定期的な報告書は年次報告書としていることの方が多いと思うので、環境報告書としている事例もあるが、環境白書は逆に違和感がある。町民の方がどう思われるかはわからないが、私自身は年次報告書で違和感がない。
事務局	年次報告書も町民の方に見ていただいたり、手に取っていただかないと意味がないものになってしまうと思う。啓発や表紙に例えば写真を入り込めるようだったら入れ込むとか、工夫をしながら、なるべく手に取ってもらえるような形で公表をしたいと考えている。
委員	商工会女性部では雑がみ回収を実施している。この会議の内容は多岐にわたり、深い広い多くの問題であるが、一つ一つ少しでも前に進めるような、そんな意味で雑がみを燃やさずにリサイクルをして、トイレットペーパーにする形で行った。3月4日に2回目を実施する。
委員	今両中学校で総合的な学習というものがある。3年生町への提言という形で時間を作って、環境やその他防災など様々なことについて、自分たちで調べて町の方の支援を受けながら、町に提言していく取り組みを行っている。年次報告書を見ると、この町の課題というのが出てくる。子どもたちにもこのような資料を積極的に提示して活用していく中で、子どもとしても自分事として函南町をどう良くしていくか、一つの材料としてぜひ年次報告書も有効的に活用していきたいと思う。今後、学校教育の中でも活用したい。
会長	他によろしいですか。それでは本日の審議会、環境基本計画年次報告では、実績が説明された。今日いただいた意見は事務局で修正や計画の見直し等に検討していただければと考えている。よろしいか。全ての質問等も終わったので、本日の会議はこれで終わりとさせていただく。

6 その他

○委員からの意見、質問、提言（（ ）中は町の回答）

- ・函南町環境基本条例、函南町環境審議会規則について以下4点の改正が必要である。前文がないこと、環境基本計画の年次報告書についての記載がないこと、町民委員・有識者

委員が1人ずつであること、財政措置条項がないこと。(現時点で改正は考えていない。)

- ・町民委員の応募方法に電子申請を導入してほしい。(今後導入できるものは実施する。)
- ・町民委員の増員(函南町環境基本条例、函南町環境審議会規則と同様の回答)
- ・函南町ごみ焼却場の天井雨漏りの跡等の修繕(早く解消したいが焼却施設の修繕に費用がかかり、その他の整備までの予算が無い状況である。)
- ・気候変動対策計画、生物多様性に関する計画の策定予定とホームページへの掲載。(現在は町独自の計画策定の予定は無く、静岡県の計画に準ずる。ホームページに静岡県の計画が見やすくなるよう考える)
- ・函南町のカーボンニュートラル宣言はどのように段階を踏んで宣言するのか。(条例制定や計画策定をしたところであり、計画をもとに事業がある程度進捗し、温室効果ガスの削減の効果、見込みが見えてからとなる)
- ・クルポの登録店数の現状はいかがか。(微増であるので飲食店の協力を得ながら増やしたい。)

○(仮称)函南太陽光発電事業環境影響評価手続き情報

○ごみ処理広域化の取り組み

○函南町のごみの分別

○会議録の確認依頼とホームページでの公表

7 閉会

以上